

平成21事業年度

決 算 報 告 書

自：平成21年4月 1日

至：平成22年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

平成21年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,149	20,354	204	(注1)
施設整備費補助金	-	112	112	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	1,039	1,039	△0	(注3)
補助金等収入	-	2,001	2,001	(注4)
自己収入	129	425	295	(注5)
雑収入	129	425	295	
大学院教育収入	205	236	30	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,272	2,866	594	(注7)
目的積立金取崩	714	974	259	(注8)
計	24,512	28,012	3,499	
支出				
業務費	18,520	17,983	△ 537	(注9)
教育研究経費	18,520	17,983	△ 537	
一般管理費	2,474	2,870	395	(注10)
施設整備費	1,039	1,152	112	(注11)
補助金等	-	1,221	1,221	(注12)
大学院教育経費	205	236	30	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,272	2,834	561	(注14)
計	24,512	26,296	1,784	
収入-支出	-	1,715	1,715	

○予算と決算の差違について

- (注1) 予算段階では計上していなかった運営費交付金債務の繰越額に係る当事業年度支出相当額を計上したため、予算額に比して決算額が204百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では計上していなかった施設整備費補助金を計上したため、予算額に比して決算額が112百万円多額となっています。
- (注3) 土地の購入単価の下落により、予算額に比して決算額が0百万円少額となっています。
- (注4) 予算段階では計上していなかった補助金等を計上したため、予算額に比して決算額が2,001百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として消費税の還付及びサービス事業の利用者の増加等による収入増に努めたため、予算額に比して決算額が295百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国立大学法人総合研究大学院大学等からの大学院教育収入があったため、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国及び民間等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が594百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階では予定していなかった追加事業等を行ったため、予算額に比して決算額が259百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算額に比して決算額が537百万円少額となっています。
- (注10) 一般管理費については、立川キャンパス移転経費の増加等により、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。
- (注11) (注2)及び(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が112百万円多額となっています。
- (注12) (注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,221百万円多額となっています。
- (注13) (注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注14) (注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が561百万円多額となっています。また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費5百万円、共同研究費11百万円、受託事業費0百万円を含んでおります。